

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	友好都市の元気いっぱい農山村コミュニティづくりモデル事業
対象地域	福島県白河市の主に表郷地区
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福島県</p> <p>白河市の位置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表郷地区の遊休農地の状況</p> </div> </div>
提案内容の概要	<p>白河市の友好都市（戸田市）に拠点を置くNPOの活動や市民のパワー（アイデア・ノウハウ・消費カ＝マーケット）を活用し、白河市と戸田市の市民交流の中で生まれてきた自主的な間伐材の利用や遊休農地の活用等による地域活性化の構想を实践する具体的な連携事業を通じて、白河市の農山村の環境・資源の保全とともに集落住民の健康と生きがいづくりと元気なコミュニティモデルづくりを行なう。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>都市の生活者である戸田市民にとっては白河市の限界集落問題など山林・農地の荒廃や集落コミュニティの活力維持の重要性を認識した一方で、まだ営農意欲のある農家高齢者も少なくないことがわかった。また、山村では間伐材の利用促進が課題である一方で、都市部では、高齢者等のための簡易な休憩所が街中にできるだけ多く必要であり、オーダーメイドによる木製のベンチが好まれることや、農産物の直販拠点等の建材に木材を利用する構想など、木材に対する新たな需要喚起の可能性があることがわかった。</p> <p>こうしたことを踏まえると、合併前の村だった地区においては、特に限界集落対策とともに間伐材の様々な木材利用の促進と都市部での需要の喚起、また、遊休農地の再利用など都市住民が求める新鮮で多彩な野菜の提供等の取り組みが、山村・農村のコミュニティを創生するカギであるといえる。</p> <p>しかし、市内の限られた財政・民間活力だけによる対策の実施は容易でないため、外部との連携・協働事業の推進方策のひとつとして、友好都市の新たな公的民間活力であるまちづくりNPOのノウハウや市民パワーを導入・活用し、新たな概念・形態のコミュニティ創生事業を展開することが必要となっている。</p>
(2) 活動内容の案	<p>活動①：友好都市で活動するNPOの木材活用事業による、山村集落コミュニティの元気再生事業</p> <p>内容：白河市の森林保全と林業再生に寄与し、山村集落のコミュニティの維持・元気回復に向けて、間伐材の利用についての調査とともに、木製品のデザイン開発および試作を行ない、その効果を検証する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 間伐材の利用実態、林業関係者・友好都市住民等へのヒアリング、アンケート調査の実施 ② 都市住民に好まれ利用される木製品についてのワークショップ、デザイン研究・開発 ③ ①②の結果を踏まえた間伐材利用の需要喚起の可能性の検討、及び以下の木造・木製品の試作。 <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材等を活用し、(仮称「もったいない亭」)を白河市・戸田市両市民の手によって試作する。 <ul style="list-style-type: none"> ※「もったいない亭」は、後述の活動②における白河市に開く仮称 戸田市民共同農園で栽培した野菜を戸田市民等に出荷・提供する拠点となるコミュニティスポット（木造）として構想中。 ・「おやすみ処」の改修・増設に間伐材を使用してベンチ等を試作し、間伐材の可能性を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ※「おやすみ処」は18年度都市再生モデル調査として、誰もが歩いて暮らせる生活環境の実現に向け、戸田市内の高架下・道路・公益施設や店舗約30箇所に設置され市民に利用され

ている。

活動②：白河市内の「戸田市民共同農園」の試験的開設・野菜栽培およびレシピの研究開発・試験販売

内容：白河市の農村集落のコミュニティの維持・元気回復に向け、遊休農地での栽培促進とともに、農産物の消費を促進するための野菜レシピの研究開発および試作を行い、その効果を検証する。

- ① 遊休農地を活用した仮称「戸田市民共同農園」の試験的開設
- ② 地元農家（高齢者等）の参加による戸田市民への野菜の栽培・提供（栽培は有償にて農家に依頼）。
- ③ 野菜の提供を受ける戸田市民の登録会員（モニター）制の試験的実施（戸田市の地域通貨等を併用して参加の仕組みづくりを図る）。※白河市から戸田市までの野菜等の運搬は、NPOや有志市民が担当し、定期的に戸田市内の「街かど朝市」（「もったいない亭」や「おやすみ処」）で市民に提供。
- ④ 農産物を使ったレシピの研究開発（白河市と戸田市の市民による合同ワークショップにて検討）
- ⑤ 開発した製品の野菜レシピの試験販売等

こうしたシステム構築上の課題や事業採算性等について、関係者や市民会員モニター等へのヒアリングを実施して検証する。なお、「戸田市民共同農園」の用地として既に450坪の遊休農地を確保済みである。

応募団体名	特定非営利活動 法人まち研究工房
リンク	http://www.machi-ken-kou.net/ http://www.oyasumidokoro.net/
部局／担当者名	企画研究部 金 好明
連絡先	埼玉県戸田市新曽 1442 TEL048-445-9038
推薦市町村名	福島県白河市、埼玉県戸田市